

日々ぼちぼちと



発行：〒714-1202 岡山県小田郡矢掛町小林27番地
(株)かむら堂 小規模多機能ホームぼちぼち
TEL：0866-82-2277 FAX：0866-82-2279

2013.2.1発行
第6号

このニューズレターは、(株)かむら堂 小規模多機能ホームぼちぼち とご縁のある方に贈ります。

わたしのつばざき

前号では京都でのハンガリーな生活を書いたがその続き。当時はフェイスコが流行っていて、マイケルジャクソンのスリラー・ビリージーン・今夜はビートイットなどがよくかかっていた。つ、踊れるの？とつっこみが入りそうだが・・・そんなハンガリーの中でも楽しくやっていたのだが、だんだんと借り賃となり、取えなく挫折、飲み屋の借金をかかえたまま実家へ帰省する。当然借金はチャラになるはずもなく、半年後にきっちり取り立てられたのである。(当然だが・・・)帰省後はしばらくカラカラしていたが、やりたい仕事も見つからず何となく倉敷の設計事務所へ就職する。それまでに一度も製図などの経験が無くしばらくはひたすら線を引いていた。その時に教えてもらった。お前の線は死んでる。んんん。どなかで聞いたような言葉。そんな叱咤激励を受けながらも約三年間を設計事務所でがんばるのである。・・・次号へ続く。



スタッフ紹介

●名前：林田恵美
●資格：介護福祉士



井原市の電波の届かない山中出身。ちなみに、今でも実家に携帯の電波は届いていない。・・・はず。幼少期はワンプクぶりを発揮。ワロックに額をぶつけ七針縫い、傷もふさがらないうちに階段から落ち更に六針。またある時は、自転車と一、五メートル落下。錆びた針金が足に刺さり、驚くほど出血すること二回。病院には行かずカッターを頼りに交換し気力で治す。ある意味ミラクル。遊び相手か近所の男の子一人と自然だった。とにかく生傷が絶えなかった。女の子なのに・・・そんなワンプク少女も高校を卒業し、障害者関係の仕事を七年経験。その後、なんと妊娠七ヶ月でぼちぼちに採用される。あらビックリ何かのドッキリか(笑)と数日間何度も採用通知を封筒から出しては眺めていたのは二二だけの話・・・そして、産休・育休と約八ヶ月を経て復帰する。復帰時は浦島太郎というより、桃から出てきたての桃太郎。更に二人目を妊娠して復帰という強者。現在は、下の娘と一緒に出勤し、娘が赤ちゃんセラピーを頑張っている。私ではなく娘が給料を貰うべきではないだろうか、と思う今日この頃。

みなさまからの声

養父が介護をお願いするようになって、一年半が過ぎました。最初の頃は表情も無く家族も途方に暮れたような状態でしたが、最近では見違えるように元気になりました。笑顔も多く、通所の日・訪問の日をそれぞれ楽しみに過ごしています。これからも宜しくお願い致します。(K・N様)



今月の予定

ご利用者の方のご家族からの要望等もあり、ぼちぼちでの行事やイベント等の予定をお知らせすることに致しました。どなたでも自由にご参加・見学いただけますので、お気軽にお越し下さい。何もイベントが等がなくてもお越し頂いて結構です。おいしいコーヒーをお出しします！それでは、今月の予定をお知らせします。

○2月4日、5日(13:30～)
○2月15日(13:30～)

節分会
誕生日会

認知症

ワンポイントアドバイス

認知症の方への対応基本十七条

九、できる限りの援助を惜しまないという態度で接する

介護者の温かい働きかけは、認知症の方の悩み、苦しみ、悲しみ、淋しさを軽減し、安心感を与えます。「何か困ったことはありませんか?」いつでもおっしゃって下さいね。という態度で接したり実際に声かけをしたりすること、私はいつでもあなたをお手伝いする準備ができていますよ」ということを相手に伝えることができます。

十、なじみの物・人・環境を維持する

認知症の方にとって、なじみの物は「心の接点」と言われるほどの拠り所になります。使い古した家財道具などでも、本人が気に入っているものはできる限り本人のそばにおいておくといでしょう。これと同じように、介護者も顔なじみがよいと言えます。

十一、人とのつながりを保つ、一人ぼっちにしない

不安を抱える認知症の方を一人ぼっちにせず、話し相手になることが求められます。話し相手になり、「自分は一人ではないのだ」と実感してもらうことで、寂しさや孤独感を取り除くことができます。さらに、会話をすると頭も使いますので、認知症の進行を遅らせることにもつながります。気をつけたいのは、自分だけがペラペラ喋っているだけでは「話し相手」とは言えないという事です。できるだけ聞き役に回るように心がけましょう。(次号へ続く) (参考資料 認知症介護、困る場面の声かけテクニク)



何でも

掲示板

昨年のガールカンウイークくらいに公開された井上靖が自身の家族とのキズなを基に著した自伝的小説「わが母の記」花の下・月の光・雪の面々の映画化。仕事から認知症関係の映画ということに気にはなっていたがなかなか機会がなく、先日レンタル屋であったのでレンタルして観た。誰もが避けては通れない親の老いと死について描かれている。家庭の事情から、幼少の頃、一人、土蔵の叔母さんに預けられて育った息子洪作(役所広司)。



自分は母・八重(樹木希林)から捨てられたという思いが常にあり、大人になってこそその事であり、母親と喧嘩していたが、捨てられたという憎しみが洪作の小説への原動力になったのも事実であった。しかし、認知症となった母の口から、幼少の頃に洪作が書いた詩がこぼれ落ちた時、母の愛に気がつき、許そうと思おうのだった。その時の洪作が流した涙に私もうるうる。また、ラスト、洪作の前に姿を現した母。その微笑みに、ぞくぞくとした。と同時に、涙が溢れてきた。(村上)

食べログ

前回は、寶来寿司さんで、忘年会を行った時の話でした。今回は、やかげ本陣御膳をいただきましたのでご紹介。事前に予約を入れておかないと食べれないので予約して、お店に行くとテーブルに「ご予約」看板が。どんなごっつお〜かなあ〜と、緑茶をすすりながら待ってますと、キター(°▽°)-!ごっつお〜ですがあ〜。ちなみに内容は、鶏肉の湯葉包や大根の豆乳煮やお吸い物など。個人的には食べたこと無い料理だったんですが、見た目も上品なんです。味も上品なんです。切干大根を揚げたものもありました。お吸い物もとてもいいお出汁で最後におにぎりをお出しでお茶漬けにして頂いたんですが(°▽°)ウマー〜。いつもとは違ったお昼で、とても満足できた時間になりました(^。^)



去年は大名行列で先払いだった桐岡がお伝えしました。

編集後記

今年の初めに県外の大学に通っている息子が帰省してきたのだが、その時に嘔吐下痢をうつされて1日寝込んだ。最近はお利用者の方やスタッフも風邪になってきたり、世間でもインフルエンザが流行ってきたりしているのうつされて寝込まないようにしなければ!と、気合いを入れ直しています>(*^_^*) (村上)